

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3970101618
法人名	社会福祉法人てくとこ会
事業所名	グループホーム南十字星
訪問調査日	平成 19年 9月 5日
評価確定日	平成 20年 1月 10日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月10日

【評価実施概要】

事業所番号	3970101618		
法人名	社会福祉法人てくとこ会		
事業所名	グループホーム南十字星		
所在地 (電話番号)	高知市種崎字古桑野593 (電話)088-837-3266		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年9月5日	評価確定日	平成20年1月10日

【情報提供票より】(19年 8月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 6 月 25 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 13 人 非常勤 3 人 常勤換算 15 人	

(2) 建物概要

建物形態	併設/ 単独	新築 /改築
建物構造	鉄筋コンクリート造り	
	3 階建ての 1 階 ~ 2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,000~32,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷金	有() 円 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="radio"/> 有(62~64千円) <input type="radio"/> 無	有りの場合 償却の有無	有/ <input type="radio"/> 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1200円		

(4) 利用者の概要(8月20日現在)

利用者人数	18 名	男性 7 名	女性 11 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名
要介護3	6 名	要介護4	7 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 81 歳	最低 55 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	愛宕病院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

木造建築の立ち並ぶ地域の一角にあるコンクリート3階建ての建物は、地域の住民から、避難場所として安心感をもたれている。地域密着型サービスとしての役割をすでに実行している事業所である。小動物をホームで飼い、餌やりも利用者の役割となっている。ホーム全体で生き物を愛し育てる事は、命の大切さを皆で確認しあっているかのようなのである。職員の態度に謙虚さがあり、常に物事を前向きに捉え、改善点は職員全体で考え試行錯誤しながら取り組んでいる。その姿からも今後更なる期待がもてる事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では12項目の改善項目があったが、改善できる事は、即改善している。事業所内の業務委員会の中で、改善すべき事柄について検討している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は、評価の意義について理解しており、今回の評価も職員全員で行っている。</p>
重点項目 ②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、利用者2名、家族2名、住民代表2名、行政職員1名、管理者、各ユニットリーダー、町内会長で構成されていて、活発な意見交換の場となっている。事業所での取り組み報告、現在取り組んでいることの報告や転倒などの事故があった場合は、必ず報告している。</p>
重点項目 ③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の来訪時、声かけをして意見を聞いている。意見として、もう少し頻繁に居室の清掃をして欲しいとの苦情があったが、すぐに対応し清潔を保持する努力をしている。</p>
重点項目 ④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の避難場所として、屋上を開放したり、近隣の小学校の運動会へ参加するなどして、地域との接点を多く持つ努力をしている。町内会にも加入し、利用者が突然外出をした場合でも、防災用の放送を利用して住民に探してもらえような体制も構築されている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔地域の中で、その人らしく生活する事を考えた独自の理念が掲げられている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 〔建設段階から要望のあった、施設を避難場所として提供して欲しいとの地域住民の声を具現化するなど、設立当初から地域密着型サービスとしての役割を目指した対応を行っている。〕		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔理念は、職員がいつも見れるようにミーティングルームや、ユニット内に掲示している。またミーティングの時に、管理者から職員に話をして意識づけている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。 〔園芸好きな方にはプランターの花の手入れ、生花の好きな方と付き添い生花をするなど、日々の生活の中には理念を反映している場面がある。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔地域の非難場所として、施設を開放したり、近隣の小学校の運動会へ参加するなど、地域との交流に努めている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔職員全員で話し合い、評価を作成するに当たり管理者が職員に役割分担をし、調査書は最後に管理者が作成し、課題については職員全員で取り組んでいる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔改善計画を作り職員で構成している業務委員会で話し合い職員全員で取り組んでいる。〕		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔評価結果について報告をし、意見を活かしながら取り組んでいることの報告もしている。〕		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔行政の各関係課とは連携がとれている。健康づくり課とは、かみかみ体操。また防災課とは地域住民と一緒に防災訓練を行うなど連携している。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔毎月、「便り」を出している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔家族には、毎月末で締め定期的に報告をし、来訪時に確認印を貰っている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族会の時には意見は出づらく、個別に話をする時に意見をもらうようにしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔「掃除をもっとして欲しい」と言う苦情があり、ミーティングで話し合い、即対応し清潔さを保持するように日頃から取り組んでいる。〕		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔現在は職員の異動がなく利用者も落ち着いている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 〔 〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔職員は、雇用形態に関係なく研修に参加の機会がある。いきいき体操や、認知症の研修などに参加している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔レポートを書き、ミーティングで報告し、職員全員が共有できている。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔グループホーム連絡会に参加することにより、他のグループホームとの交流や意見交換ができサービスの質向上に努めている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<input type="checkbox"/> 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 [フェイスシート記録に心身の状況、生活歴、病歴が記入されており、日頃から把握に努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 [家族は必ず見学をしている。本人は、見学をする方もいる。ホールで一緒におやつを食べる程度の体験をする方もいる。] <input type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 []	○	面接は管理者だけが行うことが多いが、複数の職員が係わることにより、本人や家族の理解をより深めたり、職員との関係を早く構築することにもつながるので、面接は職員と一緒にいることが望まれる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<input type="checkbox"/> 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 [声がけをしながら、一緒に調理をするなど支援のみになっていない。利用者だけでは無理な場面のみ手助けをしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 [特に料理の仕方を教えてもらうことが多い。]		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<input type="checkbox"/> 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 [利用者と担当者会を行い、本人の気持ちを大切に受け入れるようにしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 [家族からも意見は聞いているが、本人の意向を大切にすることについて、返事がしやすい質問の仕方を工夫している。]		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<input type="checkbox"/> チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 [家族の面会時に話し合いをし、また本人を交えての担当者会を行い、本人の要望を多く取り入れている。] <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 []		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔3か月に1度見直している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔入退院などで変化があった場合、その都度見直している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔入居したばかりの方の中には、入所後の状態の変化に応じ計画内容を変更している。〕		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔1か月に1度程度、外泊する利用者や家族が事業所に泊まる方もいる。また正月には家に帰る利用者もいる。〕		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔かかりつけ医に家族が連れて受診したり、事業所職員が、本人の希望する病院へ同行するなど支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔 〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔重度化した場合の対応に関する指針を家族に説明しサインを貰っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔手洗い、歯磨き、トイレの時など特に言葉かけに注意している。さり気ない対応をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔特に電話の時などは気をつけるように、管理者から職員に話をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔管理者から職員に常日頃から話をし、徹底している。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔「本を読みたい」「新聞を見たい」「花を摘みたい」「犬に会いたい」など、それぞれの思いに柔軟な対応をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔 〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔配食センターの献立を基に献立を決めている。土・日曜日については、利用者が何を作り食べたいかの希望を聞き、献立を決めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助の止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔各テーブルに必ず最低1名の職員が座り、会話しながら同じものを食べている。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔ご飯がうまく炊けなかったときなど、どうしたらよいかを尋ねると教えてくれたりと場面がある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔常に一人ひとりに声をかけて楽しみごと等を作り出す働きかけをしている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔車を利用して、遠出をすることもある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔月に1度はドライブに出かける事を目標にしている。わんぱくこーち、あじさい見物、飛行機を見に飛行場まで出かけたりにしている。〕		
あ					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔450人の住民が参加して訓練を実施。その時、炊き出し訓練も行った。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔 〕	○	事業所利用者の非常用食料を早急に準備するよう望む。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔生活歴などの情報等から、一人ひとりの嗜好を把握しており、献立を作りながら栄養バランスにも配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔法人内の栄養士がチェックをしている。〕		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔飾り物は、どちらかと言うと少ないが、家庭的な雰囲気としては適当である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔季節を感じる菊の花が活けてあったり、栗が飾られていたり、季節感等への配慮もできている。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔居室に荷物が少ない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔入居時に家庭で使い慣れた馴染みのあるものを持ってきて欲しい旨を話している。〕	○	施設や病院から直接入居された方や、家族のいない方に対しても、その人らしく生活できる居場所作りを利用者と共に作り上げる工夫が期待される。